（別紙1）

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

日本財団助成事業

療育研修会

北海道 支部/分科会

◆テーマ

「入院患者の障がい福祉サービス活用と地域参加支援」

講師：北海道医療センター　療育指導室　主任保育士　大柳　和宣

【内容】

日頃の支援現場での豊富なご経験をもとに、入院患者さんの障がい福祉サービスの活用や地域参加支援について、具体的な事例を交えながら大変わかりやすくお話しいただきました。

患者・利用者の皆様が安心して地域で暮らし続けられる社会の実現に向けご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

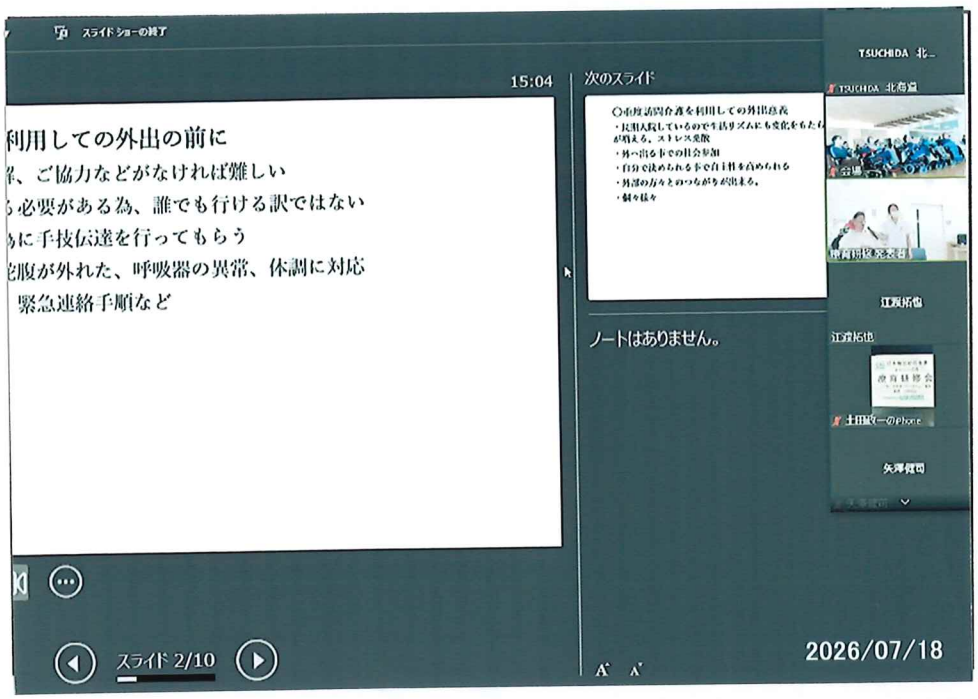
日本財団助成事業

（別紙2）

療育研修会実施状況

北海道 支部/分科会　　参加数　54　名

実施場所　北海道医療センター リハビリ室



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

制度の説明だけでなく、利用者一人ひとりの思いに寄り添いその人らしい暮らしや社会参加を支えるための工夫や連携の大切さについて多くの学びと気づきをいただきました。

本日のご講演は、医療・福祉それぞれの立場で支援に携わる参加者にとって今後の実践に生かせる大変有意義な内容であったと感じております。

(別紙3)

日本財団助成事業

相談会　実施状況

北海道 支部　　参加数　3　名



実施を終えて（相談内容、相談者の感想等）

相談内容

Q1　パソコンやスマホ、ネット通信のトラブルをうちでは院内に出入りしている業者に出張修理費払うか家族に専門店に持って行ってもらっています。職員は不足してるし詳しくないので断られます。いい方法あれば教えてください。

Q2　箱根病院に入院していますが、ヘルパーがいないため、外出がなかなか出来ません。国の方でスタッフを増やすなり、対策してもらいたいです。

Q3　筋ジストロフィー患者が、施設に入院しながら、大学へ通ったり、就労したりすることは可能ですか？

感想等

Q1　パソコンやスマホは個人の活動に入ると思います。ボランティアさんや業者・家族に依頼するのが良いでしょう。
Q2　今回の講演にもあったように一朝一夕には行きません。課題を一つずつ解決して行きましょう。
Q3　入院しながらは難しいと思います。病院と連携の取れた形で解決策を考えることが大事かと思います。

日本財団【療育研修会】相談会実施状況写真